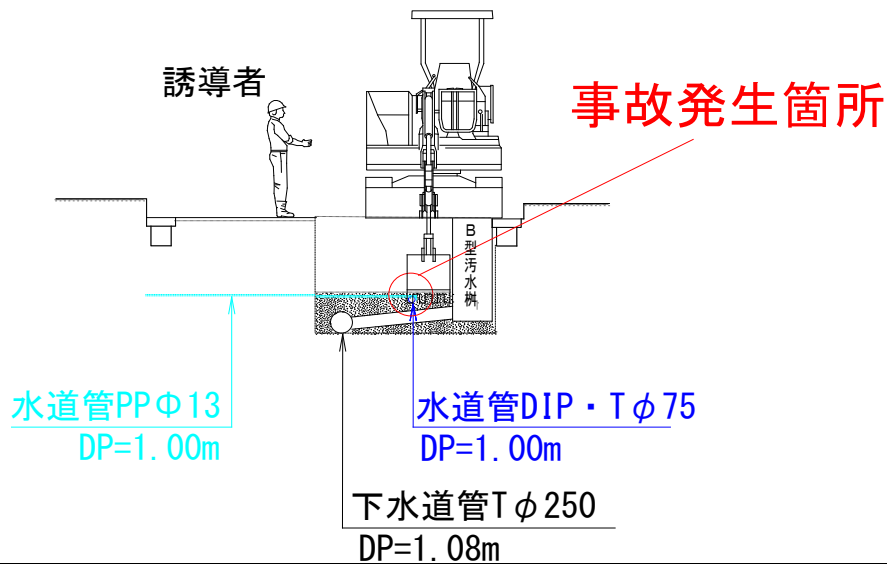


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3年 6月 7日(月曜日) 11時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	男性	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道本管の給水分岐部の破損			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	管更生及び取付管工						
事故概要	汚水柵の設置に伴う人力掘削後、バックホウのバケットを堀山内に下した際、誤って爪先を立てた状態であったため、堀山内でバケットを返したところ、爪先が水道管の給水分岐部に接触し破損させたもの。						
事故原因	作業当日、給水管の位置確認を見落としていたため、堀山内に給水管が埋設されていることを把握できておらず、また、バックホウのバケット操作を地上ではなく、埋設物付近で行ったことによるもの。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地下埋設物の確認は、最低2人以上で行う。 ・全作業員への周知はKY活動、作業前の現場で各1回ずつ行う。 						

事故状況図



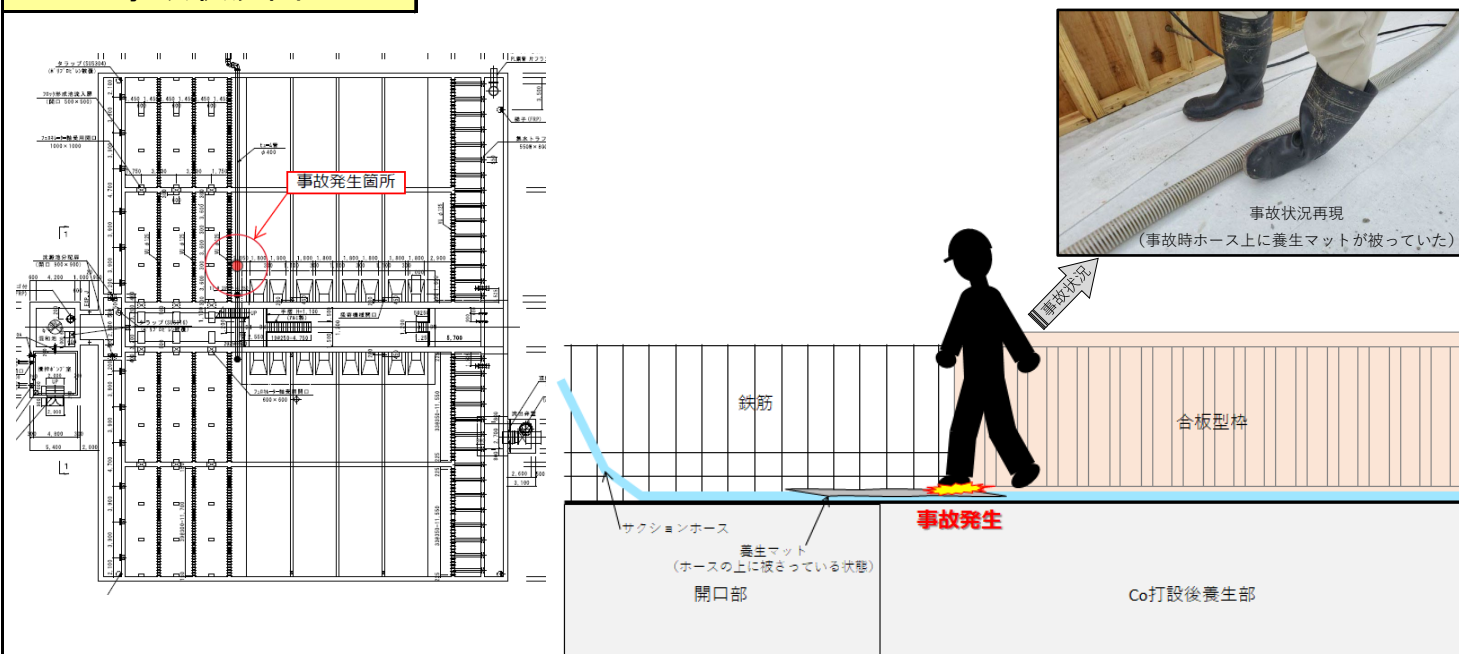
改善状況図



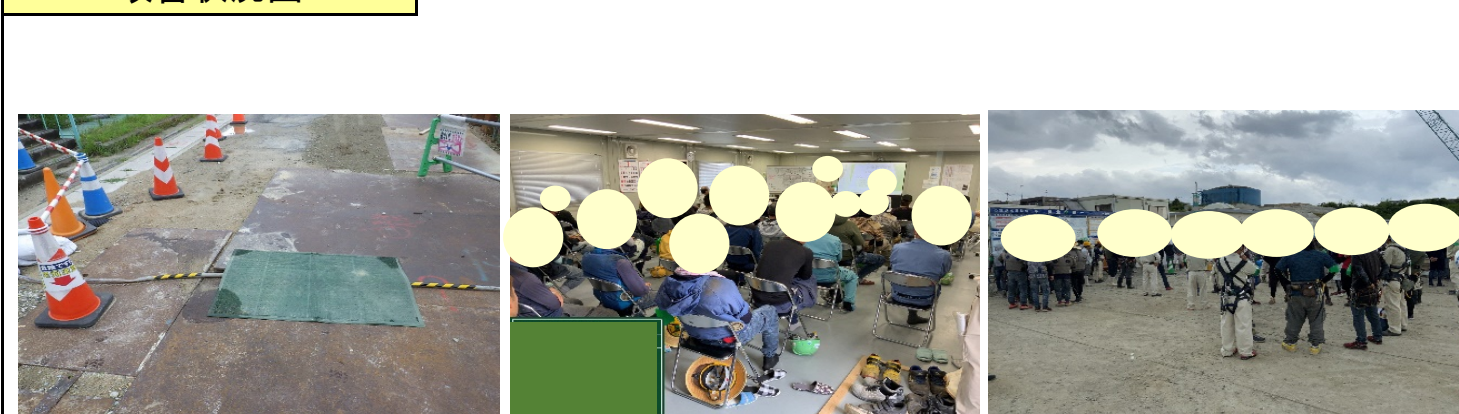
公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和3年6月10日(木曜日)14時30分頃			工事関係者区分	三次下請
事故区分	その他	性別	男性	年齢	33	業種区分	土木
被災程度	負傷(左足関節捻挫・左足関節外側靭帯損傷)		事故レベル	I	休業見込日数	0日	
工事概要	浄水場整備工事(構造物築造に伴う型枠設置工)						
事故概要	型枠作業員(被災者)が構築中の沈澱池内を移動中、釜場から地下水を排水するために配置していたサクシオンホース(φ50、2口寸ポンプ排水用)に左足をのせてバランスを崩し、左足首を負傷したもの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> 被災者が足を乗せたサクシオンホースは、事故当時、床版コンクリート打設後の養生マットの下に配置されていたため視認しにくい状況にあったため。 被災者は、当該箇所の型枠作業にこれまで従事してきており、作業への慣れにより足元への注意不足が生じたため。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ホース類に明示テープを貼り、注意喚起のための標識を設置した。 足元に注意し、単独作業をしないよう安全教育を実施した。 毎日の朝礼時に関係者全員に危険箇所を周知した。 						

事故状況図



改善状況図



ホース明示・標識設置状況

安全教育実施状況

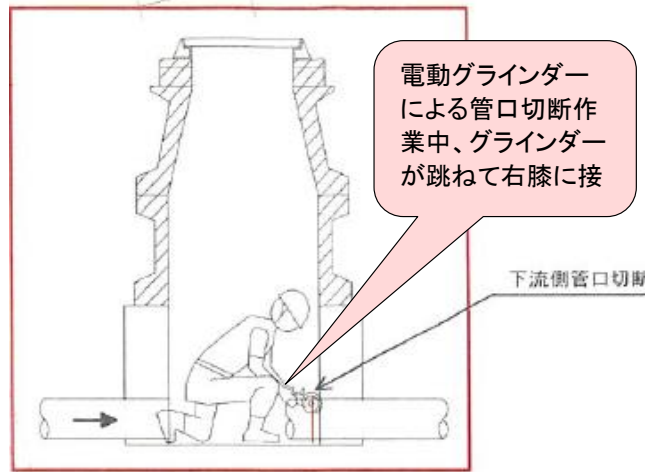
危険箇所周知状況

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和3年6月21日(月曜日) 3時40分頃			工事関係者区分	一次下請
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	58	業種区分	土木
被災程度	右膝関節部挫創、関節内血腫			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	4日
工事概要	管更生工事						
事故概要	人孔内で余分な管口を電動グラインダーにより切断していた際、当該グラインダーが跳ねて被災者の右ひざに接触し、受傷した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘な、人孔内での作業であったため無理な体勢を取らざるを得ず、グラインダーを制御しづらい状態であったこと。 ・グラインダーの跳ねあがりなどへの対策がなされていなかったこと。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・再発防止研修を実施した。 ・保護具を見直し、今回と同様な作業を行う際は、保護手袋や防護眼鏡に加え、耐切創用エプロンを着用させることとした。 						

事故状況図

事故発生状況イメージ図



改善状況図

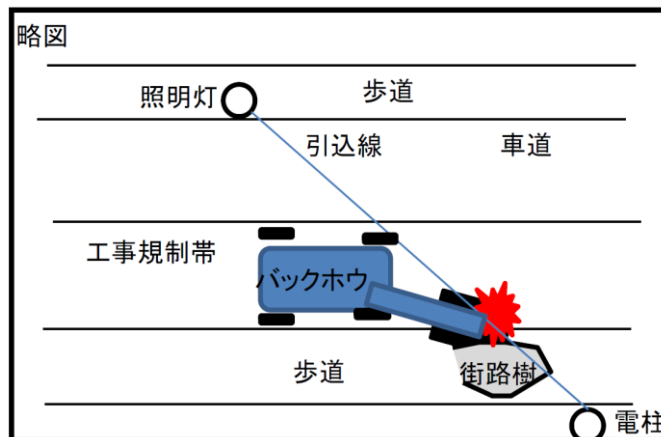
安全研修実施状況



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3年 6月22日(火曜日) 13時00分			工事関係者区分	元請け
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	街灯配電ケーブル破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	管布設工事						
事故概要	管を布設するため、ホイールバックホウ(0.4t)を用いて掘削作業を行っていたとき、バックホウのアームにより架空線(街灯配電ケーブル)を破断した。						
事故原因	当該作業を行うにあたり合図者を配置していたが、架空線に対するオペレーターの注意不足や、合図者との連携が不十分であったために発生したものの。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・事故後、直ちに安全訓練を行った。 ・KY活動の際に、当日の作業内容や手順、工事区域内における架空線等の位置、作業に伴うリスクとその防止策を関係作業員全員に周知徹底し作業を行うこととした。 ・今後の作業にあたっては、合図者にホイッスルを持たせ、緊急時はホイッスルが鳴ったら全停止のルールを周知 						

事故状況図



改善状況図

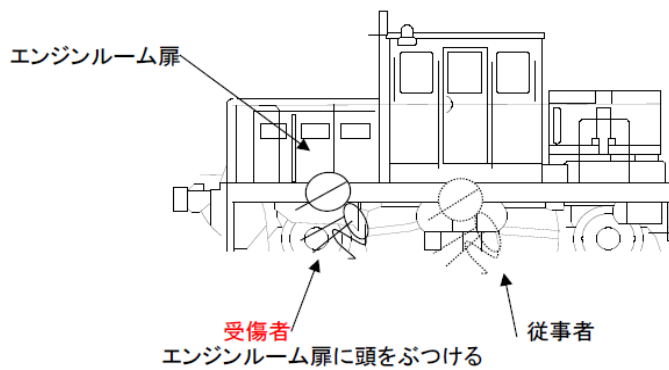
再発防止に向けた安全訓練実施状況



公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 3年 6月 22日(火曜日) 9時35分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他	性別	男性	年齢	66	業種区分	土木
被災程度	頭部切創		事故レベル	I		休業見込日数	0日
工事概要	軌道保守						
事故概要	軌道モーターの点検作業にて、エンジンルーム扉を開けたまま、車体下部のブレーキシュー点検を開始。 終了して立ち上がった際に、エンジンルーム扉に頭をぶつけ受傷。						
事故原因	事故の原因は、ヘルメットを着用していなかったことによるものである。 また、点検作業は週に1回行っており、これまでの作業の慣れからくる事故リスク管理の低下や関係者の注意不足も事故の要因であると考えます。						
改善策	点検作業を行う際は、ヘルメットを着用する。 作業時の安全確認を確実に実施する。						

事故状況図



事故再現写真

改善状況図



ヘルメットの着用



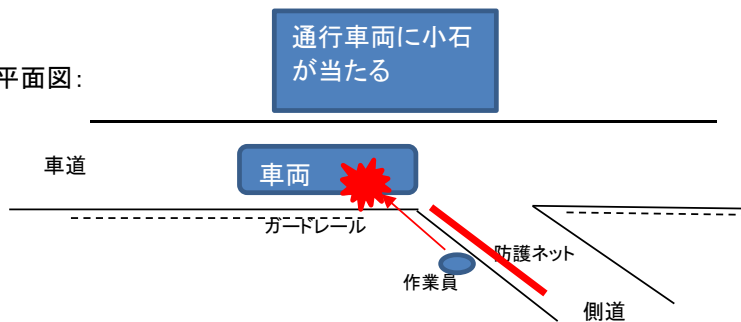
KY活動の実施

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年 6月25日(金 曜日)11 時 30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	運転席右側窓破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	西区公園等管理業務委託						
事故概要	除草作業中肩掛け除草機械で石を跳ね、その石が通行車両に当たり窓ガラスを破損した。						
事故原因	除草をする際側道に対して平行に防護カバーをしていたが、カバーに対して平行に石が飛び、その先に道路があり、通行中の車両に当たったもの。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 作業員全員の危険予知活動を徹底させる。 作業環境に応じた安全対策(防護ネットの2方向設置等)をしっかりと行う。 車両や通行人がいる箇所での作業には監視員を立て、周囲に十分注意を払う。 						

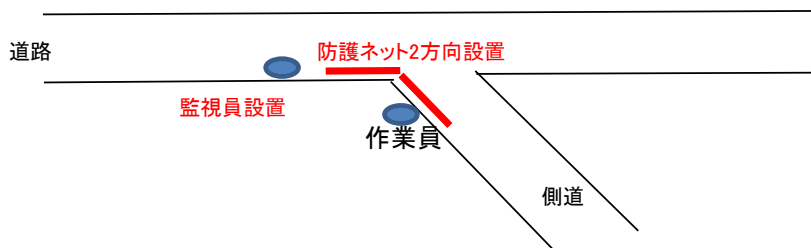
事故状況図

平面図:



改善状況図

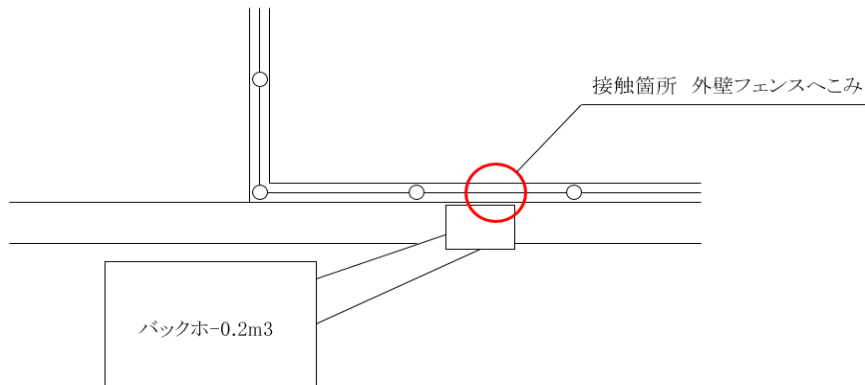
- * 作業員全員の朝礼でのKY活動
- * 作業環境に応じた安全対策(防護ネットの2方向設置等)
- * 監視員の設置



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年6月1日(火曜日)10時00分			工事関係者区分	元請け
事故区分	建設機械等	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	住民宅フェンスの凹み			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路改良工事						
事故概要	バックホー0.2m3で既設水路の取壊しを行っていた際に、誤操作により住民宅外壁フェンスにバックホー0.2m3のアーム部分が接触した。						
事故原因	バックホーオペレーターの誤操作。						
改善策	第三者の財産近傍作業前の、KY活動等の実施 作業時の周囲安全確認の徹底						

事故状況図



改善状況図

再発防止ミーティング実施状況

